

live

ライブ live: 「自分らしく輝いて生きる」という想いを込めた男女共同参画推進のための情報紙です。ぜひご覧ください。

宇佐美理世氏
「ワーク・ライフ・バランスで豊かな人生を」研修会



大谷由里子氏「ファシリテーション」講座



有田謙司氏「壊れた雇用」講座



「親子で楽しむアウトドアアクティビティ」



親子でエコを考える「アートフレーム作り」



山田 治氏「世界エイズデーに寄せて」講座



福田百合子氏「女力」研修会



「ストップ サメタボ！健康教室」



「料理で異文化交流しませんか」



CONTENTS

- 1 写真で見る！男女共同参画推進活動
- 2 特集対談「共同」を発信！
- 5 山口市内の企業におけるワーク・ライフ・バランス ～調査概要と一考察～
- 6 漫画で考える「我が家の男女共同参画」！
- 7 クロスワードパズル
- 7 本とDVDの紹介
- 8 ライブエッセイ

山口市男女共同参画センターフェスティバル「パネルシアター」



山口市男女共同参画センターフェスティバル
基調講演「女の器量・男の器量」



山口市男女共同参画センター4月1日オープン！



共同を発信!

日々、「情報」や「情報芸術」を発信しているお二人に、男女がともに認め合い、ともに支え合い、ともに輝いて「自分らしく」生きる「共同」の素晴らしさをお聞きしました。



足立明男さん
山口情報芸術センター館長



16年間の美術教師時代を経て、山口県立美術館の設立運営に21年間携わる。その後、浦上コレクションを核にした浮世絵と陶磁器のユニークな県立萩美術館設立運営のため、11年間、萩で単身赴任。平成19年より、山口情報芸術センター館長を務める。

座右の銘
「離見の見」

「お客様がどう見ているのかを客観的に見る。自分の真剣な眼差しを、もうひとりの自分の目で見えるようにしています」と足立館長。

大西春菜さん
NHK山口放送局長



昭和58年にNHK入局、勤続26年目。経営情報室に配属後、現場に出ることを希望し4年目に事業部に移りイベントの企画制作を行う業務に就く。その後、名古屋放送局事業部、番組制作局、監査委員会事務局のほか、展覧会や博覧会の責任者を務め、昨年6月、山口に赴任。

座右の銘
「志あるところに道は開ける」

「何を以てその困難な道を開くか。人の心を動かすのは志だと思っています」と大西局長。



足立：人間の出会いは大きなものです。大西さんはせっつく山口に來られたのですから、色々な素敵な人と接して交流を深めていたかったですね。山口で女性局長が誕生したのは今回初めてですよ。

大西：山口局では女性局長は初めてです。現在、NHKには3名の女性局長がいます。

私は全国最年少で、女性局長としては5人目となります。

男性と女性の役割や働き方について

大西：私が入局した昭和58年は、記者として初めて女性を2名採用した年で、全職種合しても大卒女性は11名しか採りませんでした。男女雇用機会均等法の成立前で、女性が社会に出ようと思うと、事実上公務員になるかマスコミに入るか、あるいは研究職に就くという選択肢しか無く、みんな苦労していました。昭和61年に男女雇用機会均等法が施行され、翌年大卒女性の採用数は26名になりました。平成21年度では、女性の採用数は115名になって全体の37%を占め、なかでも取材分野で女性の占める割合が一番多くなっています。

足立：山口情報芸術センターでは専門職と技術職の人数比率が10対10です。しかも意図したわけではないのですが、男性と女性の占める割合も全く同じになっています。

大西：しかし、最近でこそ、NHKでも女性が増えていますが、それはここ十数年のことです。活躍の場も少ない、先も見えない中で、道を見つけていくことに、今まで女性は本当に苦労してきたと思います。ただ波に乗って今のようない状況になっているのでは決してありません。多くの女性が頑張ってきた実績が、今につながっているのだと思います。

足立：その通りですね。これからは自分の個性が発揮できる世界の中で、システムや質も自分たちが構築していけるくらいの、新しい世界を切り拓いていくような職場が必要ですね。

大西：平成9年に雇用機会均等法が改正されたあと、NHKでも平成13年に「ポジティブアクション」プロジェクトをスタートし、育児支援制度などの整備を進めました。その後の実効性を見ても、やはり制度を整えることは組織の姿勢を変える上で極めて大切だと思えました。しかし、法律改正の力だけ

ではなく、入局してきた女性職員が非常に頑張ってきた実績を上げたことで、男性の意識も明らかに変わったのだと思います。

足立：制度が整えば、内部のメンバーの意識も変化する。意識が変われば、また素晴らしい制度の変化が起こるのでは？

大西：NHKでは記者もディレクターも技術も営業も非常に不規則な仕事ですから、育児休暇などの支援制度もここ数年でかなり充実してきました。そして何と云っても、育児休暇や産休を取った人の多くは非常に効率的に仕事をします。お母さん同士のネットワークも広がり、人間的に大きくなって復職してきます。この面でも制度を整えるというのは極めて大きいし、必須だと思いましたね。能力も熱意もある人が育児や介護のために辞めざるを得ないのは、組織にとつてデメリットです。

最近では、一旦退職した人間もある程度の条件をもとに復職できる「キャリアリターン制度」や家族の介護および看護のための支援制度も拡充しつつあります。

足立：共同参画の「共」は、一緒に手で支えるという意味がありません。年齢や性別をうまく生かした



調査概要と一考察

山口大学 経済学部
准教授 鍋山 祥子

1 ワーク・ライフ・バランスへの関心の高まり

最近、ニュースや雑誌記事などで、ワーク・ライフ・バランスという言葉がよく取り上げられる。ワーク・ライフ・バランスは「仕事と生活の調和」と訳され、性別や年齢にかかわらず仕事と私生活をともに充実させることによって、両者が好循環するような状態を指す。政府は、2008年を「仕事と生活の調和元年」と位置づけ、現在、ワーク・ライフ・バランスは企業と労働者の双方にメリットをもたらす「時代の処方箋」として、広く受け入れられ始めている。

2 調査概要

このような社会動向の一方で、企業経営者からは「導入のメリットがわからない」「コストをかける余裕がない」「必要性を感じない」などの意見が出されることも多く、企業によって、ワーク・ライフ・バランスへの取り組みに温度差があるのもまた事実である。そこで今回、私たちが住む山口の企業について、ワーク・ライフ・バランスへの理解はどの程度で、実際の取り組みはどのくらい進んでいるのかなど、全体的な傾向を知るための調査をおこなった。調査対象は旧山口市と旧小郡町に事業所がある従業員が10人以上の企業とし、2009年9月か

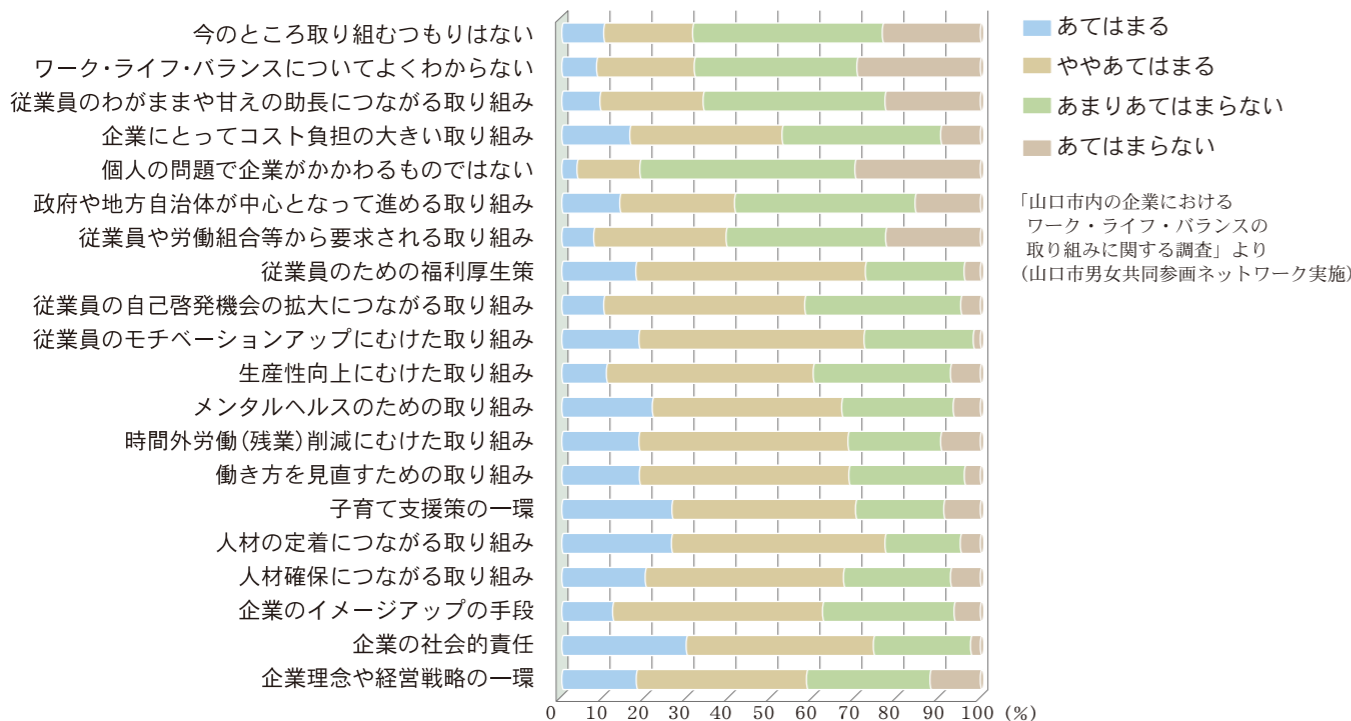
ら10月にかけて調査票を567票配布し134票の回答を得た。有効回答率は23.6%である。

3 調査結果の考察

紙面の都合から、ここでは「ワーク・ライフ・バランスの推進に対する企業の意識」のみを取り上げる(図1)。全体の傾向として「ワーク・ライフ・バランスの重要性と企業が取り組む意義は認識しているが、経営への直接的なメリットがあまり見込めず、導入コストについての懸念もある。まずは法律を遵守し、従業員の労働意欲を保つための福利厚生策として位置づけている」と理解することができる。

しかし、今後の生産年齢人口(15歳~64歳)の減少とさらなる高齢化による介護人口(仕事と介護を両立する必要がある人)の増加を考えると、もはやワーク・ライフ・バランスは福利厚生ではなく、人材獲得のための戦略として捉えるべきである。さらに、ワーク・ライフ・バランスを進めることは、必然的に「業務の見直し」を伴い、それによるムダの削減や生産性の向上を見込むことができる。つまり、「不況なのにワーク・ライフ・バランスを？」ではなく、「不況だからこそワーク・ライフ・バランスを！」という企業の意識変革が必要なのである。

図1 ワーク・ライフ・バランスの推進についての考え



がら手を携えて共同の社会を創っていく。「共同」とは文化です。いい予感がしますね。

大西：男女だけではなく世代でも「共同」して、次の世代に山口の歴史と文化の素晴らしさを引き継いでもらうこと、これは「情報発信」の使命でもありますしね。

「ワーク・ライフ・バランス」観

大西：仕事でも何でも、「楽しんでやるのが私の考えです。仕事では大勢の人にお目にかかれずし、地域の素晴らしさも沢山知ることが出来ます。その出会いが自分の頑張る糧になっているので、ワークとライフが完璧に分かれているわけではありません。

山口は自然環境が素晴らしいので、県内各地に出かけて人と出会ったり山口の美味しいものを見つけたら、また体を動かすことが大好きなのでスポーツを楽しんだりしています。

足立：私にとって家庭とは「心の居場所」のような感じがします。趣味は、萩美術館時代の葛飾北斎の本を眺めながら、作品の中に、作者の気持ちを探るのが楽しみです。

大西：お仕事と趣味が一体化して、とても文化的ですね。

これからの夢

大西：地域の皆さんとのつながりを深めて山口の素晴らしさを発信し、テレビ開局50年を迎えたNHK山口放送局の過去の蓄積を活かして、地域そして世代をつないでいきたいと思っています。山口県内で今まで取材した場所を再度訪れて、当時の放送番組を地元の皆さんとアナウンサーやカメラマンと一緒に語り合う『テレビ50年ありがとう！キャラバン』も、下関市蓋井島からスタートしたところですね。



足立：YCAM(山口情報芸術センター)で創ったものを日本全国、また世界へ発信したい。国際的な発信力を高め、山口の魅力が目に見えることは、地域の活力にもつながります。広域からすぐれた人材を引き寄せる力にもなります。中央へ、アジアへ、世界へと考えるのはここ山口が本州の端にあることの特性でしょうね。

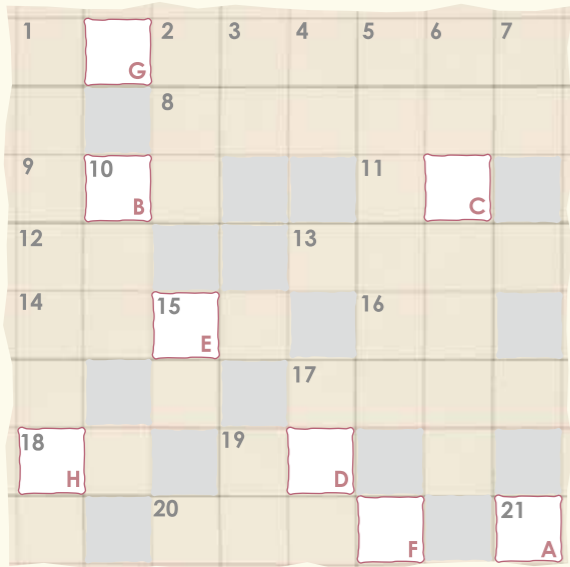
最後に、お二人のように自分らしく輝いて生きる秘訣とは

大西：自分ではよくわかりませんが…。その時その時に自分にできること、すべきことを精一杯やろうと思っています。

足立：今日会う人に何かを学ぶぞという思いを大切に、自らを「再創(Recreative)」していきたい。時代が大きく転換する今、本質をつかむ目を持つようにしたいと思っています。

正解者のうち抽選で30名の方に図書カードを差し上げます。

Crossword



答えは **A B C D E F G H** です!

■応募資格 市内在住か、在勤の方

■応募方法 3月16日(火)までに、はがきに答え・郵便番号・住所・氏名をご記入の上、下記へ送付してください(当日消印有効)。

〒753-0074 山口市中央二丁目5-1

山口市男女共同参画センター 宛

※正解者のうち抽選で30名の方に図書カードを差し上げます。なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

タテノカギ

1 山口市の男女共同○○○○○
○○○は市民会館に併設して
います。

2 「現代的な」を英語で
重さの単位 g・kg ○○

3 預金についているがわず
カタメなどの漢字四文字で構成
曲がりくねること・事情がこみ
いつていること

4 日○○に暖かくなり春が
○○○一品○○○御免
○○○がい○○○おい○○○もの
がかり

5 ○○○市外
○○○市外

6 鶴は千年、○○○は万年
○肌○顔○手

ヨコノカギ

1 幕末・土佐・海援隊・薩長同盟と
いえる

2 草食○○○、肉食△△△
生け花の展覧会を略して
陶○○断○○○訴
○○○子危うきに近寄らず
○○○○供給

3 日本史○○○○○
1×1、9×9全部覚えた
経線○○○○○

4 トラの次の次の年です
○○○の○○○あみ○○○ち
ふーつ、と○○○○○をつく

これらの図書やDVDは、山口市男女共同参画センターにて貸し出しています。

Books & DVD

DVD



子育てする男たちは
どこがカワイイ!
オレがパパ?
半信半疑で乗り切る、
子育てエント
テインメント!



子育てする男たちは
どこがカワイイ!
オレがパパ?
半信半疑で乗り切る、
子育てエント
テインメント!

池田鉄洋監督(キングレコード株)
「男の母性」がテーマの子育てドラ
マ。とあるマンションを舞台に、玄
関に置かれた赤ちゃんを共同で育
てることになった4人の男たちの
お話。



あなたの夢はなんですか?
夢はなんですか?
私の夢は
大人になるまで
生きることです。

元気をつくる。
「吉本流」コーチング
大谷由里子著(ティスカヴァー)
自分が自分らしく生きるために、こ
れからの世の中に必要な「ココ
ロの元気」。「ココロが元気であれば
」人を認め、引き出して、応援する」
コーチの仕事も簡単です。その「ココ
ロを「吉本流」で伝える一冊。

漫画で考える我が家の「男女共同参画」!



募集

家庭や職場、学校、地域などで、
日常のうれしい、楽しい、ま
たちょっと我慢ならないよ
うな「男女共同参画」のエピ
ソードを募集します。
採用されたエピソードは四
コマ漫画となって「山口市男
女共同参画センター」の公式
サイトで公開します。

■応募方法 3月16日(火)まで
に、はがき裏面(文面)にエピソ
ードを記載し、表面に郵便番号・
住所・氏名をご記入の上、左記へ
送付してください。ペンネーム・
封書・メールでの応募は不可(当
日消印有効)。
〒753-0074
山口市中央二丁目5-1
山口市男女共同参画センター
「男女共同参画」エピソード係宛



女優 中嶋朋子

Profile

東京都生まれ。国民的テレビドラマと呼ばれた「北の国から」で22年の長きにわたり螢役を務める。以後、映画、舞台へも活躍の場を広げ、実力派として高い評価を得る。他に、朗読、執筆、講演でも独特の感性を発揮、根強いファンを持つ。近年では、ジャズ、民族音楽、オーケストラとのコラボレートで古典の朗読劇に取り組む。エコロジストとしてのやわらかなライフスタイルも注目を集め、そのしなやかな自然観が共感をよんでいる。

私のワーク・ライフ・バランス

シェイクスピアの最も初期の作品、「ヘンリー六世」という舞台に去年の夏からかかりきりで、まあ、去年の半分は費やしてしまった。

というのも、この「ヘンリー六世」は3部作で、上演時間9時間にも及ぶ大作。セリフの量もハンパではないが、9時間の舞台をおよそ1ヶ月間やり通すために必要な体力も尋常でない。そうなってくると、毎日毎日の健康管理、体力増強のトレーニングがとても重要になる。

1日の始めに、2時間ほどストレッチを含めた運動をし、舞台のための下調べや、セリフなどの勉強は随時。昼頃から夜9時頃までお稽古、帰宅後もストレッチ&勉強。息つく暇もなかつたりする。けれど、息をつかなければ、何事もうまくいかないもの！なので私は、息つく暇も、笑っちゃうけど、必死にスケジューリングする。

まあ、大したことではないのだが、いつでもほっとできる時間を演出してくれる「マイポイント」はふたつ用意し、ひとつにはその日の気分でハーブティを、もうひとつには喉のために自家製のカルン蜜を常備。おろそかになりがちの食事は、お弁当を持参。どちらもちよつと手間はかかるけれど、そのひと手間が、自分を大切にしている満足感につながるから不思議。

私には、小学生の息子がいるので、彼との様々な時間も必要になってくるが、そこも、ひと息ポイントに。朝早く学校へ出かけていく彼を世話しながら、まず、ストレッチ。息子と話しながらだと、こちらも苦ではなくなる。手のか

かる息子にちよこまか用事を頼まれても、良い運動と思えば小言も減って、息子も喜ぶ。夜遅くに帰宅して、やらなきゃならないことが山積みでも、真っ先に息子とお風呂。身体の疲れも取れるし、コミュニケーションも取れるし、言うことなし。

てな具合に、気持ちの持ちようと、気持ちの切り替え、良い加減のいいわけをちりばめつつ生活するのである。他にも、勉強と称して、主人と映画を観たり、美術館に行ったり。健康管理の一手として、自然に触れる！温泉に行く！というのもあり。とにかく、いかに心地よく自分を騙せるか！が大事。

だって、どんなに頑張ろうと、眉間に皺を寄せてばかりじゃ、良い結果は生まれない。自分だけじゃなく、周りにとっても良い影響を及ぼさない。どうせ頑張るなら、「楽しい」を頑張る、というわけ。

もちろん、うまくいかない時もある。そんな時は「頑張り屋」を頑張らずに、「素直に疲れる」。疲れたあゝ、頑張ったくと、思いつきり言ってしまう。甘えられる人には、たっぶり甘えたり。頑張った自分、疲れてる自分をしっかり自覚して、きっちり癒します。すると不思議に、「よし！」というやる気が湧いてくるし、おまけに、周りへの「ありがとう」も湧いてくる。

所詮、人間は一人では生きていけないもの。だから、一人で頑張りすぎず、人への思い、人からの思いに気づける状態であることが、ベストコンディション！だったたりするわけです。

Essay